上下水道運営委員会 会議録

(令和2年度 第2回)

1 日 時 令和2年8月31日(月) 9:30~11:05

2 場 所 委員会室(役場 3階)

3 会議の出席者

(1) 委員(出席7名、欠席0名)

出席	永田耕朗 委員長	藤原健祐 副委員長	岡村統正 委員
	松浦隆起 委員	横畠美和 委員	眞辺千津子 委員
	伊藤みどり 委員		

(2) 佐川町(6名)

佐川町長 堀見和道	
建設課	課長 池内伸雄
技術監理係	課長補佐 藤本雅徳、係長 片岡正也、野村史枝
水道係	課長補佐 山崎幸、係長 中越健一郎

4 会次第

(1) 開会

(2) 町長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 議事

①令和元年度佐川町農業集落排水事業特別会計決算について

②令和元年度佐川町水道事業会計決算について

③水道料金の適正化について

- ・水道料金体系の概要
- ・水道料金の構造別割合
- ・料金改定検討のポイント

(5) 閉会

(1) 開会

(2) 佐川町長 あいさつ

(3) 委員長 あいさつ

(4) 議事内容

〔質疑等〕

① 令和元年度佐川町農業集落排水事業特別会計決算について

— 農業集落排水事業担当より決算資料に基づき説明 —

委員) 新しく家が建築されているが、加入の状況はどうか。

事務局) 本管がすぐ前にきているところにつきましては、エリア内でしたら、お願いをして接続してもらっています。

委員) 加入者の中で、高齢者の世帯はどれくらいあるかわかるか。例えば、70歳とか。

事務局) 正確に集計はしていませんが、やはり高齢化が進んでおりますので、施設に入所するので農集の使用を止めたい、名義を変えて一時的に休止したいであるとか、という方は何人もいらっしゃいます。

委員) そのあたりで、これから先、この数値にも影響が出てくるということか。

事務局) そうです。

委員) ということは、農集会計への補助金、一般会計からの繰入れが必要になってのか。

事務局) 総合的に考えないといけませんが、この農集会計は、令和6年度に会計の見直し等もありますので、そのあたりには使用料金を含めたものを検討していかなければいけないと考えているところです。

委員) 人口あたりの加入率は、県下的に同じ事業を行っているところと比較する良い方か。

事務局) 良い方です。

【概要版】

委員長)他に何かありませんか。

大体、ご意見も出たようですので、ただ今、事務局より説明がありました令和元年度佐川町農業集落排水事業特別会計決算につきまして、本委員会として承認することにご異議ございませんか。

委員)異議なし。

委員長)異議なしということで、佐川町農業集落排水事業特別会計決算につきましては、承認することに決定いたしました。

続きまして、2件目の令和元年度佐川町水道事業会計決算について説明願います。

② 令和元年度佐川町水道事業会計決算について

— 水道事業担当より決算資料に基づき説明 —

委員長)水道事業会計につきまして、事業報告並びに決算の状況につきましての説明が終わりました。質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員)有収水量の減少と有収率が8.4%下がっていますが、この原因は何ですか。

事務局)有収水量が下がったのは、近年、大きな施設等で漏水が多かった分が、徐々に修繕され止まってきていることが原因であると考えられます。ある量販店も改修をしてから、使用水量が半分ぐらいに減っているのです。漏水していたのではないかと考えられます。大きな事業所でも、平成29年度から30年度にかけて使用水量が大幅に上がっており、今年の夏頃に水量が下がっています。漏水していたと思われます。他にも何箇所かで水量が大幅に減少しているところがあり、それを積み上げるとこの減少量と近いものになります。

有収率の低下は、本管や本管から引き込みの給水管での漏水が、去年は非常に多く、なかなか発見するのが難しく時間を要したため有収率が大きく低下しております。

本年度になり、漏水調査委託業務の中で漏水していると思われる箇所を集中的に調査をしていただき、割と大きな漏水が4箇所程度見つかって修繕を行っておりますので、本年度の有収率はもう少しは上がるのではないかと思います。

委員)これが直接収入につながっていく部分なのか。

事務局)そうです。

委員)有収率は低いほど良いのか。

【概要版】

事務局) 違います。低いほど、漏れが多いということになります。

委員) 表を見比べると、年々下がってきているようだが。

事務局) 下がってきています。耐震化を進めている町中心部の基幹管路からの漏水はあまり発見されておらず、まだまだ古い配水管路が多くあり、そこからの漏水で年々、有収率が下がっております。

委員) 大きな漏水が何箇所かあったと言われたが、それでこれくらい有収率が下がったのか。

事務局) そうです。町中心部の中組配水池の給水エリアが、古い配水管が多く漏水も多いです。

委員) 配水しても、途中で捨てているという訳ですね。

委員) 本管よりも枝管からの漏水か。

事務局) 本管から事業所等に分岐する大きめの給水管からの漏水とか、職員の調査だけでは発見が難しいケースがあります。

委員長) 他に何かありませんか。

意見が無いようですので、令和元年度水道事業会計決算につきましては、ただ今、説明のとおりで承認することにご異議ありませんか。

委員) ありません。

委員長) 異議なしということで、令和元年度水道事業会計決算につきましては、本委員会として承認することに決定いたしました。

続きまして、3件目の水道料金の適正化についてを議題といたします。説明願います。

③ 水道料金の適正化について

- ・ 水道料金体系の概要
- ・ 水道料金の構造別割合
- ・ 料金改定検討のポイント

事務局) 続きまして、私の方から説明させていただきます。

【概要版】

前回から水道料金の適正化についてということで協議をしていただいておりますが、本日は水道料金の体系の概要と構造別割合、料金改定検討のポイントを内容として示しております。

— 水道事業担当より料金適正化についての資料に基づき説明 —

委員長） 水道料金の適正化について、前回に引き続き詳しい説明がございましたが、何かお気づきの点やご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。

説明を聞くと、令和3年度から値上げをしないと運営が厳しいというような状況だと感じましたが、何かお気づきの点ございましたらお願いします。

委員） 私は前回、欠席させていただいたため、隔月検針ということを経験していただきましたが、隔月にすると2ヶ月分を一緒に請求するということですね。家庭によっては負担になる。今、比較資料を出していただきましたが、検針を隔月にして請求は毎月する、そうしたらいいのではないかと家で考えておりました。隔月の検針と請求にすると68万円ぐらいの削減になる。この削減の金額が少ないとは言いませんが、この削減額で、ある意味町民の方、家庭によると若干負担になるご家庭も出てくるでしょうし、もし本当に実施するとなると、例えば隔月の請求月を年金でお暮しの方のところは、年金が振り込まれる月にしてあげないとギリギリでやっている方もいらっしゃる。先程、決算説明の時に言いました有収率が下がることで、それだけ多くの金額がすたっている訳で、そちらをしっかりとやっていくことでこれぐらいの金額はカバーできるのではないかと、個人的には考えているがその点はどうですか。

事務局） 委員のおっしゃるとおりだと思います。確かに、漏水を止めて有収率を上げていくことは非常に重要だと思いますが、町内全域、老朽化が進んでおりますので、なかなか厳しいものが現実としてあります。

請求を2ヶ月に1回、隔月にすることでどうしてもご負担になるとういご家庭には、ご相談に応じて分割することも考えていこうと思っています。隔月にグループ分けして、偶数月のグループ、奇数月のグループという形で検針をして、その翌月に請求をするという形を考えておりますので、すべての年金受給者の方に支給月に合わせて請求することは難しいかと思いますが、個別対応することで隔月検針・隔月請求という形で実施したいと考えております。

委員） 私は、どうもすっきりしない。これにかかわらずですけど、こちら側の努力というか、厳しくなっている、料金改定の必要がある、言い方はきついかもかもしれないが、帳尻を町民の方にもっていつている。若干、私はそういう感覚があるので、先程も聞きました。気がついたのが、決算の説明の中でも、本当は有収率を上げること、この経営計画でも「有収率の向上」というのを上げていますよね。先程の決算の中で一番大事な

【概要版】

ところを、聞いて教えてもらいましたが、有収率がこういう状況でこれを上げるのにこうするところを、しっかり町側がやっていかないと、料金を改定して上げる、町民の方にも若干の負担をいただいて、毎月でなくて2ヶ月に1回にする、漏水を止めるのは簡単なことではないけれど、片方では水がすたっていつている、有収率が下がってきているというのでは、追いかけてこみたいになるので、しっかりそこをもっと有収率を、漏水に対しての対策をしっかりやった上でこういうことを町民にお願いするのならいいですけど、私はこの点に関しては今一つ、すっきりしていないというのが正直な感想です。一生懸命やられているということは分かった上で言っていますが。

事務局) 十分、承知しております。平成28年度に経営計画を策定してから、漏水調査も専門業者に委託をして佐川町内を5箇年で一周する計画を立てて進めております。そのスピードが、5年に1回ということになってきますので漏水箇所の発見に丁度行き当たらないということもあるかと思いますが、財政に余裕ができれば単年度の調査範囲を広げることも可能になると考えております。

委員) 前回の会の時に、私もその点について言わせてもらったのですが、町民に対しての説明を十分にとの意見を言わせていただいて回答をいただいて、今回の資料にもなっています。

自宅の水道料金が上がって漏水している時に、漏水調査してもらうのにあちこちやっていただいて本当に時間がかかりました。

本管からの漏水でも、調査での発見箇所、住民の通報等優先的に努力してやっていただくところはしていただくこととして、実際値上げをしないとこの負担は補っていけないので、有収率が上がるのを待っていたら間に合わないのではないかと思います。

やはり、説明を十分にしてもらって並行してやっていかなければならないと思いますがどうでしょうか。実際、今もやっていると思うのですが、もう少し急ピッチでやりながら、その説明を十分に町から町民にして、支払いの件も意見を聞きながら負担がかからないようにというのを、前回回答で言ってくださっていたので、そのところの説明をもっと十分にしていっていいと思います。

事務局) ありがとうございます。まだまだ、説明資料を作成するところまで進められておりませんが、今後考えて効果的でわかりやすい説明ができる資料を作りたいと考えております。

委員) その漏水の調査は、業者に頼んでいると言ったが、高知市とか都市部においては夜中、静かになった時に調査員が行っているが、佐川町でもそういう形で夜中に調査を行っているのか。

事務局) 佐川町では、昼間に専門業者の方が機器を使って調査しています。発見される

【概要版】

ごとに、随時当番業者に委託し修繕を行っています。

委員) 調査機器の精度がかなり上がっていると思うが、以前は集音マイクで聞きながら地下の漏水箇所を探していたのだと思うが、今はもっと精度が上がっているということか。

事務局) 私にはそこまでの専門的な知識がなく、お答えできません。
本年度も、既に委託し調査をしておりますが、割と早い時期に4箇所程度、大きな漏水が発見され修繕も完了しております。

委員) 業者は、1業者か。

事務局) 1業者です。

委員) 現場ごとの対応は、1クルー、何名かで回っているか。

事務局) 2名程度で回っていると思います。

委員) 毎日、回っているのか。

事務局) ではないと思います。

委員) 漏水箇所は、水量が多いので場所的にはわかりますよね。先程の説明だと、順番にやっていると言っていたが、漏水の多い場所から集中的にあちらからこちらと順番ではなく、飛ばして集中的に多く漏れているところから調査して修繕していくという方法はできないのか。

事務局) 配水池エリアごとに有収率の変動を確認しながら、漏水が多いと思われる範囲を指定して調査委託をしております。

委員) それは、メーター器までか。

事務局) メーター器までです。

委員) メーター器から家庭内の漏水箇所は、別になるということか。

事務局) メーターまでですが、確実に宅内の漏水が判ればお知らせはいたしますが、宅内は個人のご負担で修繕していただくこととなります。パイロットがゆっくり回る程度

【概要版】

の少量の漏水では、お気づきにならない方もいらっしゃると思います。

委員) 令和3年度から値上げしないと、結局、何年か先延ばしにすると改定率が上がってくるということか。令和17年度までに、今の段階で20%値上げしないと令和17年度のところでは間に合わないと言うことか。

事務局) やはり、遅れれば遅れるほど資金の確保が難しくなります。また、前回もご説明したとおり、料金回収率の問題がありまして、その料金回収率は昨年度106%ですが、本年度はもっと厳しい状況にあります。100%以上は必ず達成しなければいけないのですが、この料金回収率が100%を割ってしまうと翌々年度の耐震化に係る国庫補助金が受けられなくなってしまいますので、3年度の早期に改定しないと料金回収率は厳しい状況になります。

委員) はい、わかりました。

委員) 隔月検針と隔月請求に切り替えたという他の自治体の事例はあるのか。

事務局) 県内では、隔月検針・隔月請求を行っているところは少なく、高知市と香美市が隔月検針・隔月請求を行っています。現在、町村では無いと思われれます。

委員) 仮に水道料金改定と隔月検針・隔月請求が同時になった場合、支払いの負担が極端に上がるような方もいらっしゃる訳だが、その辺りの検討がもう少し必要かもしれない。

仮に20%の料金改定するというので、それでもなおかつ隔月検針・隔月請求ということで経費節減しないと厳しい状況なのか。

町長) 委員からお話がありました有収率を上げるということ、これは水道経営において一番大きな要因になります。その中で改善をして、経費を少しでも抑えるということは、町として必ずやらなければいけないと思っております。

それと併せて、隔月検針は実施をしていきたいと思っておりますけれども、請求に関しては委員からご意見がありましたので、もう一度、役場の方で検討をして次回に町としてはこう考えますということをお示しさせていただきたいと思っております。おっしゃる様にやはり、年金で生活している人、今月はちょっと通帳残高に余裕があるかな、何か使ってみようかなと使ってみたら、次の月に水道料金が2ヶ月分引かれたということになって、生活リズムも不規則になることも想定されます。仮に希望される方は毎月の請求にしますと言っても、本当はそうしたいけれどもという方々全員の希望をお伺いするというのもなかなか難しいことになると思いますので、もう一度しっかり検討したいと思っております。この場で、こうしますということが言い切れないものですから、請求の方法

【概要版】

に關しましては隔月請求にするのか、毎月請求にするのか改めて検討させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

委員) 一樣には言えないかもしれないが、口座振替が4,400件で、納付書払いが600件近い件数であるが、振替の方は2ヶ月に1回にでもあまり影響はないかもしれない。しかし、一律には言えないが納付書払いの方には弱者や生活的に厳しい人は、2ヶ月分が1回で請求がきた時にどうなるかということだが、その辺り未納件数との関係もあるがどうか。納付書払いは小口の方か。

事務局) 納付書払いは企業とか公的機関も多いです。役場、農協関係、企業も多いですが、もちろん一般の方もいらっしゃいます。

委員) 口座振替で残高不足等引き落とせない事例は多いのか。

事務局) 毎月、約60～80件程度あります。

委員) 残高不足という方がか。

事務局) 資金不足という理由で引き落とせなかった方がおります。

委員長) 他に何かご意見がありましたら、お願ひします。

ご意見も無いようですが、今日結論ということではありませんので、また時間をかけてご意見を伺いたいと思ひます。

本日で2回目の上下水道運営委員会で、料金改定につきまして色々な面から説明もいただきましたが、やはり水道料金の見直しは必要であろうと思ひますので、今後に向けてこの委員会で議論をしながら、良い答申ができるように進めていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

その他、何かありませんか。

委員) 以前は、水道管布設の要望を検討していたことがあったが、今は要望が多くきているのか。前は、斗賀野とか他にも水道を引いてほしいということで要望を委員会で検討していた。最近は聞かないが。私のところにも要望がきているが。

事務局) 現在、要望書が出てきているのが、上郷地区で1件、先週出てきています。その件につきましては、内部での検討や現地確認もまだできておりません。

委員) 以前は、この会で検討をしていたが、これからもそういうことを検討するのか。

【概要版】

事務局) はい、いたしますが、現在提出されている件については内部で確認の上、またこの会へ議題として提出させていただきます。

委員長) 他にありませんか。

委員) ありません。

委員長) それでは、本日の上下水道運営委員会は農業集落排水事業特別会計決算、そして水道事業会計決算につきましては承認をいただきました。そして、水道料金の適正化につきましては2回目となりましたが、色々なご意見をいただきましたので、また引き続き次回協議をしてまいりたいと思います。

(5) 閉会

委員長あいさつ